



研究テーマ

1 学習成果の可視化

2 学習調査の分析

3 ファカルティ・ディベロップメント



武方 壮一

たけかた そういち
学び・学生支援機構
教学マネジメント部門

教授

キーワード

教育の質保証、GPA、ファカルティディベロップメント、FD、アクティブラーニング、学習成果

特許情報・
共同研究・
応用分野など

研究概要

学習成果の可視化、学習調査の分析、ICTを活用した教育方法など、大学教育の質保証に関わる研究を行っています。

また、FD研修会を企画し、組織的な教育力向上のための取組を行っています。さらに、県内の高等教育機関で構成する「高等教育コンソーシアム宮崎」の委員として教育連携事業を推進しています。

1 学習成果の可視化

学習成果の可視化とは、学生自らがエビデンスを持って何が身についたかを説明できるようにすることをいいます。そのためには、大学の教育課程毎に、どのような資質・能力を身につけると学位を授与するのかを明確に示すことが大切です。そして、育成する資質・能力が各授業科目とどのような対応関係があるのかをカリキュラム・マップとして示すことが必要です。

このような情報を成績と照合しグラフ化して示すことで、学生自身が自己の履修状況や達成度を確認できるシステムの開発を行っています。

2 学習調査の分析

教育・学生支援センターでは、初年次、2年次、最終年次に全学生を対象に学習調査を実施しています。ここから得られた回答をIR推進センターと協力して、成績との相関を分析しています。これまでに、図書館の借り出し図書、ディプロマ・ポリシーの理解度、朝食の摂取に係わる分析を行ってきました。本学では、毎日朝食を食べる学生は成績が良いという相関関係が明らかになっています。

3 ファカルティ・ディベロップメント

組織的な教育力向上を図るために、全学のFD研修会を企画し開催しています。中央教育審議会の答申に対応すべく、全国から講師を招聘したり、自らも講師となって発信しています。過去のFD研修会の開催記録は、教育・学生支援センターのホームページにおいて公表していますので、そちらを参照してください。本学では、ファカルティ・ディベロッパー、アクティブ・ラーニングアドバイザーの認定を受けています。

ホームページ

教育・学生支援センター
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/cess/>

技術相談に応じられる関連分野

- ・ GPA制度導入の企画
- ・ 学習調査分析
- ・ ファカルティディベロップメントのための研修会の企画

メッセージ